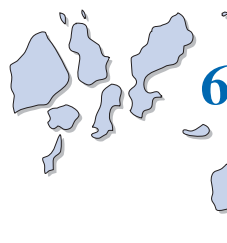


上島町



6月10日
～7月16日

2学期から町内に“青パト”が走ります！ (青色防犯パトロール車) ～9月3日から県内一斉スタート～

6月23日、上島町弓削地域交流センター（消防庁舎2階）において、スクールガード養成講習会が行われました。この講習会は、「見せる防犯」として青色回転灯を装着できる自家用車や公用車の登録資格を得るために開催され、町内の小中学校の教員、PTA役員、スクールガード・リーダーなど、約40名の教育関係者が参加しました。講習会では、伯方警察署による青色防犯パトロール講習や先進的な見守り活動を行っている新居浜市のNPO法人「守ってあげ隊」の講義が行われました。

上島町でも、昨年からの各地区で見守り隊が結成され、街頭指導などを実施しておりますが、より一層の犯罪の抑止効果、安全対策の充実を図るために、町内で5台の青パト（青色防犯パトロール車）を走らせる予定です。もちろん青パトによる巡回を行えば、子どもたちの安全が保障されるものではありません。子どもたちの安全を見守るのは、地域の方々の“目”が一番大切だと考えます。

これからも、学校・保護者・地域が一体となり、上島町の将来を担う子どもたちの安全対策にご協力をお願いいたします。



青色回転灯を取付けた車（青パト）



青色回転灯はマグネット着脱式になっています。



講習を真剣に聞く参加者

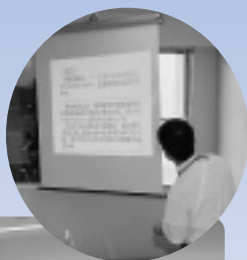


食中毒予防に努めましょう！

6月6日、弓削保健センターにおいて食中毒予防教室が開催され、町内の食品取扱者・保健栄養推進員・一般町民の方など32名が参加しました。講師として今治中央保健所・食品衛生監視員の坂東成純先生をお招きし、食中毒菌の細菌の種類・性質・主な予防方法など、スクリーンを使ったクイズ形式で大変分りやすく説明されました。

みなさん、これから食中毒が発生しやすい季節となります。

食中毒の三原則「清潔・迅速・温度管理」に心がけましょう。



スクリーンを使った講習の様子

平成19年度愛媛県人権対策協議会上島支部総会開催！新支部長に毎木氏選任！

6月24日、せとうち交流館において平成19年度愛媛県人権対策協議会上島支部総会が開催され、各支所から会員40名が参加しました。

まず、上村支部長より、「上島町民が一丸となって、思いやりのある明るい町づくりにご協力ください。」と開会の挨拶がありました。引き続き平成18年度事業報告、決算報告が審議承認され、「支部長の選任について」は、このたび、退任されることとなった、上村支部長の後任として、毎木正博氏が満場一致で選任されました。



総会の様子

海の日に触れ合って確かめる地域の宝 松原海水浴場海開きイベント開催！

7月16日は海の日。松原海水浴場の海開きを祝って弓削六鼓人の勇壮な太鼓が響き渡った。砂浜のごみ拾いに汗を流した小・中学生ら大勢が参加して待ちかねた海開きイベントが催された。

まずは、砂上の手作り水槽に活き鯛が放たれ、軍手をはめた小学生がつかみ取りに挑戦。右往左往する子供たちに外野から大きな声援が飛び交った。なかなかつかめない友達を助け合うほのぼのとした光景も見られ、もれなく一人一匹の鯛に笑顔がこぼれた。

次は、俊敏な脚力を競い合うビーチフラッグス大会。砂まみれになりながら、きわどい勝負が繰り広げられ、小中学校の学年・男女別のチャンピオンが決まった。中には旗が取れなかったくやしきから泣き崩れる子供の姿も見られるほどの熱戦が展開された。

海上では、バナナボートにまたがって波しぶきとスピードを満喫。下弓削クラブの出店が憩いのひとときを演出するなど、思い思いに触れ合いを深めた。

法王ヶ原と快水浴場百選・松原海水浴場は、先人が築き上げた全国に誇れる地域の宝です。

この夏、砂浜にも松の木陰にも素敵な出会いの数々が待っていることでしょう。



浮の上はふわふわして気持ちいいよ！



開会セレモニーに六鼓人登場！



スタートの様子！



猛烈ダッシュ！



僅差の勝利！



ヘッドスライディング！



上手にとれたね！



ビーチフラッグス表彰式の様子



スピード満喫！



やった！とれたよ！



出店也大盛況！

6月19日、弓削小学校グラウンド及び体育館において上島町小学校球技交歓会が開催されました。

男子児童はソフトボール、女子児童は2グループに分かれてミニバスケットボールの試合を行いました。ソフトボールでは手を負傷したピッチャーがチームメイトのサポートにより2試合を完投。また、逆転満塁ホームランが出るなど、感動的な場面が多く見られました。

ミニバスケットボールの、高学年Aグループは、白熱したハイレベルな試合が展開され、中学年Cグループも、日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱戦を繰り広げました。

会場には弓削小学校の低学年児童や保護者の方々の熱い応援もあり、梅雨空を吹き飛ばす大変、盛り上がる大会となりました。

【試合結果】

■男子ソフトボール

優 勝 岩城小学校 (2勝0敗)

準優勝 生名小学校 (1勝1敗)

第三位 弓削小学校 (0勝2敗)

■女子ミニバスケットボール

《Aグループ》

優 勝 弓削小学校 (2勝0敗)

準優勝 生名小学校 (1勝1敗)

第三位 岩城小学校 (0勝2敗)

《Cグループ》

優 勝 岩城小学校 (2勝0敗)

準優勝 弓削小学校 (1勝1敗)

第三位 生名小学校 (0勝2敗)

上島町小学校球技交歓会

日頃の練習の成果を発揮!



弓削小代表児童の選手宣誓



ダイナミックな投球フォーム



ハイタッチでランナー出迎え



独走でナイスシュート!



ロングパス!



ナイスバッティング!



ホームイン!

弓削保育所七夕参観日！

7月5日、弓削保育所において七夕参観日が行われました。父兄が見守る中、園児たちはそれぞれの願い事を書いた短冊や七夕飾りを笹いっぱいにはり付けました。最後に全員で元気よく七夕の歌を合唱しました。みんなの願い事が天に届くといいですね。

七夕は一年に一度、織姫と彦星がめぐり合うロマンチックなイベントです。あなたはどんな願いを短冊に込めましたか？



短冊を笹につける園児



弓削地区

中学生も議会傍聴！

6月25日招集の第2回定例議会に弓削中学校3年生12名が社会科（公民）地方自治の授業の一環として、町議会の傍聴を体験しました。

自分たちのくらしや地域のことが真剣に議論され、地方自治の意思が決定していく過程を学習することができ、充実した校外授業となりました。



議会を傍聴する生徒達（傍聴席後方2列）

ふるさとの海の復活を願う熱い思い！弓削島から発信！

6月25日、弓削小学校西海岸において、NHK松山放送局の番組「いよかんワイド」の取材が行われました。今回はNPO法人ゆげ・夢ランドの会が取り組んでいるEM団子（EM菌）を使った海の浄化と水生生物の再生をテーマに弓削小5、6年生と夢ランドの会の皆さんが出演しました。

まず、小学生によるEM団子の海への投入場面から放送がスタートし、団子の特徴について紹介。

続いて夢ランドの会会長の村瀬さんを始めとする会員の皆さんが、EM菌を使った取り組みの成果としてマテ貝、アサリ、ハクセン（白扇）シオマネキ等の水生動物の復活やアマモ、ホンダワラ等の水生植物の増加について紹介されました。



出演されたゆげ・夢ランドの会の皆さん

弓削島を中心とするEM菌を使った海の浄化活動の様子を伝えることができました。この活動が上島町だけでなく、瀬戸内海全域へ広まり、昔のような水生動物が多く住める豊かな海となることを願います。

EM団子を
投げ込む児童

復活したマテ貝を紹介

EM団子を
紹介する児童

砂浜に楽しい作品えがこうよ！

7月9日、弓削小学校西海岸において、弓削小学校全児童による砂浜集会が行われました。

当日は時折、小雨がぱらつく中、5班に分かれての砂アート作りがスタートしました。今年の全体テーマは「仲良し友達」です。作成途中、魚島小学校の児童3名が応援にかけつけてくれ、弓削・魚島合同のアート作りとなりました。



みんなで協力して作りました



生名地区

「伝統文化 琴・尺八こども教室」

7月1日、生名公民館において「琴・尺八こども教室」の開講式が行われました。

この教室は日本の伝統文化継承を目的として開催されるもので、上島町の小・中学生に募集したところ、琴12名 尺八3名 計15名（生名小14名・弓削小1名）の参加がありました。これから3月16日まで、計20回の教室が開催されます。

伝統文化こども教室事業は、文化庁から委嘱を受けた財団法人文化活性化国民協会の事業です。



開講式の様子

琴爪をつけてもらう
受講生

尺八の指導

いきなカップビーチボール
バレー大会！

6月24日、蛙石体育館において第7回いきなカップビーチボールバレー大会が開催されました。

前年度優勝チームのおとっと（生名）、ピングー（因島）から優勝杯が返還され、因島から参加の4チームを含む男子8チーム、女子7チーム、計15チームで熱戦が繰り広げられました。

今年は男子の部『フレンズA（因島）』、女子の部は『ドタバタ（生名）』が優勝しました。

今大会は地元生名地区からの参加チームが増えたことにより昨年以上に盛り上がった大会となりました。

町内の皆さん、ビーチボールバレーを始めてみませんか？楽しいですよ。



優勝した「ドタバタ」チーム

生名小学校4年生マドレーヌ作り！

6月7日、生名公民館調理室において総合的な学習の時間に生名小学校4年生がマドレーヌ作りに挑戦しました。まず、お菓子作りの達人から調理のポイントを聞き、さあ調理開始です。生地を紙の容器に移すのに苦労していましたが、最後にオーブンで焼いて完成。調理室は甘い香りでいっぱいとなり、完成したマドレーヌをみんなで美味しくいただきました。自分たちが苦労して作った分、余計に美味しかったようです。



焼きあがったマドレーヌ

ラージボール卓球交流会
～ナイススマッシュ～

6月24日、生名体育館においてラージボール卓球の交流会が行われ、初心者から愛好者まで30名の方々が参加しました。

初めてラケットを握る人も多く、最初はラケットにボールが当たらず、悪戦苦闘していましたが、愛好者の優しい手解きにより、段々とラリーが出来るようになりました。結果、3名の方が新規加入してくれました。

このラージボール卓球は通常のピンポン球より大きく、空気抵抗を多く受けるため、スピードボールや変化球が打ちにくく、初心者でも手軽に出来るスポーツです。

興味のある方は是非一度、プレーしてみてもいいでしょう。



交流会の様子



初心者の方を指導する愛好者

岩城地区

ヒラメの稚魚放流 大きくなって帰ってきてね！

6月28日、岩城島浜海水浴場周辺の海域と岩城漁港沖において岩城生名漁協によるヒラメの稚魚の放流が行われ、岩城小学校5・6年生31名が参加しました。

当日は、あいにくの天候でしたが、9cmに成長したヒラメの稚魚約18,000尾を放流しました。

バケツから海に流すと、黒っぽい体を砂に潜り込ませていました。順調に育てば、3年後には体長30センチ、1キロの成魚になります。

岩城生名漁協では今後も資源確保、地元漁業の活性化のため、活動が続けて行きたいと思いますので、皆様の御協力をお願い致します。



児童による放流の様子



児童のバケツに丁寧に稚魚を移し替える漁協職員

海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」

6月23日、梅雨の中休み、夏模様の空の下、岩城島海岸全域の海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」を行いました。小学生・中学生・保護者・企業職員など、約200人で海岸に漂着したビン・カン・ペットボトル・発泡スチロール・流木等4トンのごみを回収しました。

参加された皆様ありがとうございました。



たくさんのゴミを拾い集めました



残念なことに、一部の海岸では犬のフンが大量に散乱していました。散歩中のフンの処理は犬を飼う上での最低限のマナーです。散歩させるときは、必ずスコップと袋を持って、フンは自宅に持ち帰り、自分で処理をお願いします。

～ 地産地消 ～ 地域食材を活用した給食試食会

7月4日、岩城小学校において、地域食材を活用した給食試食会が開催されました。食材の一つ一つに込められた愛情や苦労をかみしめながら味わいました。また、農家訪問の時に教わった野菜栽培の発表会もあわせて行われました。その後、子どもたちから手づくりの感謝メダルが農家のみなさんに贈られ、心が通い合うふれあいとなりました。



メダルを贈る児童



発表会を見学する農家の方々

親子で歯みがき教室 食べたらみがこ約束ゲンマン！

7月4日、岩城保育所において「親子歯みがき教室」が開催されました。

岩城歯科診療所の村上玲子先生から「よくかんで食べることの大切さ」「はみがきの大切さ」などのお話がありました。その後、実際に自分で歯をみがく練習や親子での仕上げみがきの練習をしました。

ふだん歯みがきが苦手な子も、みんなと一緒に歯みがき練習では、笑顔を見せながら一生懸命みがいていました。みんなピカピカの歯になったかな？



村上先生の指導の様子



きれいに磨けたかな



励ましと癒しの広場で 深め合う古里との絆 第16回関西岩城会総会

『おみやげに芋菓子と魚島のりを買って帰りんさいや』

『なつかしい味をまとめて買うさかいに、まけといてや』

会場の一角に設けられた上島町ミニ物産展の売り場は、黒山の人だかりで大繁盛。

去る6月10日、大阪市内のホテルにおいて、関西岩城会の総会が開かれました。近畿一円はもとより、遠くは埼玉、愛知県からも岩城島出身の会員86人が集いました。故郷上島町から上村町長と新川副議長がお祝いに出席しました。岩城島からも有志3人が駆けつけました。

第七代会長桑原益人さんの挨拶で総会が始まりました。町長の祝辞では、定住促進や産業振興など古里行政への応援要請が込められました。引き続いて、会計報告や活動計画、役員改選などが満場一致で承認されました。

副議長の乾杯の発声で始まった懇親会では、めでたく古希と還暦を迎えられた6期生と16期生の皆さんに記念品が贈られました。テーブルごとに歓談の輪が広がるなか、飛び入りのかくし芸やアトラクションで盛り上がりました。

なかでも今回初登場の母と子のフラダンスショーは、愛らしくつやっぱいしぐさで会場を魅了しました。拍手が鳴り止まぬなか、梅雨空から一転して真夏の明るい日差しに包まれました。

発足して16年目を迎えた本会では、年間を通して様々な催しを開き、家族ぐるみで親睦を深めています。春の里帰りツアーでは、積善山へ記念の桜を植樹。世代間交流や人脈の広がりが多様な世界観を醸し出しています。近年は、熟年や団塊の世代のUターンも活発な動きを見せています。

ところで、このかけがえのない古里応援団も問題を抱えています。横のつながりは、広がっていますが、21期生を境にして、若年層の会員登録が伸び悩んでいます。

近畿在住の上島町岩城島出身の皆さん、励ましと癒しの広場で心を開いて語り合い、自ら誇れる古里サポーターになってみませんか。

地元の皆さんも子供さんはもとより、親戚や知り合いの皆さんに働きかけてください。

名残惜しいお開きには、町長からの手みやげが一人一人に手渡されました。満面の笑顔で交わす力強い握手は、絆の深まりを物語るものでした。

また来年と言わず、この後の催しにもきっと来てや。



記念撮影の様子



カラオケも盛り上がりました！



町長から手土産が渡されました。



笑顔満開の各テーブル



フラダンスショーは参加者を魅了しました！

魚島地区大木海岸清掃 ふるさとの海をキレイに！

6月26日、魚島地区大木海岸において、地元の各種団体をはじめボランティアなど総勢57名が参加し海の清掃が行われました。これからの海水浴シーズンにむけ海岸に流れ着いた大量の流木やペットボトル、ビニール袋、発泡スチロールを拾い集めました。また、海岸周辺に生い茂った雑草も丁寧に刈り取るなど、参加者は清々しい汗を流しました。

昼前にはゴミひとつ無いキレイな海浜となり、子ども達も「これで今年の夏も、気持ちよく泳げるね！」と喜んでいました。



ゴミを拾い集める参加者達

～魚島地区救命講習～ あなたは冷静な対応ができますか？

6月14日、魚島開発総合センターにおいて魚島地区の学校教職員・支所職員を対象とした救命講習が行われました。上島町消防署職員から心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用法、その他応急手当の方法等について指導をうけました。

参加者は職場や普段の生活の中で、いついかなるときも、すばやく対応できるよう真剣に取り組んでいます。



AEDを使用する参加者



魚島地区

懐かしい思い出いっぱい！ 地域参観日！

6月30日、魚島小中学校・高井神小学校の地域参観日が行われました。

当日、学校には、地域の方々が多数訪れ、子供たちの授業の様子を見学していただきました。古い卒業写真に見入る人。教室の子どもに昔の自分の姿を重ねる人。中には、「学校を訪れるのが数十年ぶり」という方もおられ、皆さんとても懐かしんでいました。

これからも「地域を照らす灯台」として子供たちを見守ってください。



朗読をする児童



中学生の授業の様子

～いきいき生活講座～ 「だまされないで！悪質な詐欺や架空請求」

6月12日、魚島開発センター及び高井神公民館において、防犯に関する講座が行われました。伯方警察署の富島巡査長をお迎えし、年々、巧妙化する悪質な詐欺の手口や、ハガキ・封書での架空請求書が届いた場合の対処法などについて説明を受けました。

参加されたみなさんも、「ウマイ話には、必ず落とし穴がある」ということを改めて認識されていました。

みなさんも、ちょっとおかしいと思われる電話やハガキが送られてきた場合はひとりで考えず、最寄りの駐在所や役場までご相談ください。



熱心に講習を聞く参加者

